

# くるくるトラロープを導入

## 機械回りの接触に注意喚起

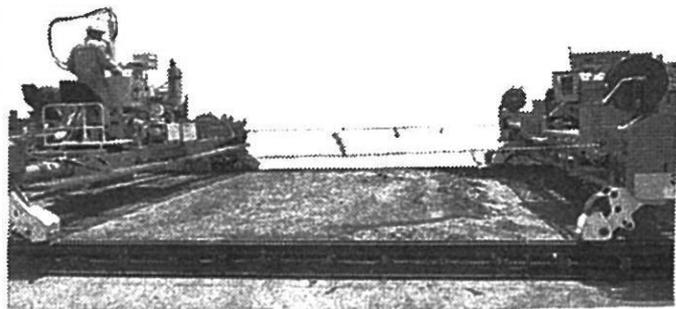
大成ロテック

大成ロテックは、コンクリート舗装工事での安全対策として注意喚起器具「くるくるトラロープ」  
Ⅱ写真Ⅱを導入した。  
コンクリート舗装のセ  
ットフォーム工法では、  
敷き均し・締固め・表面  
仕上げの3種類の機械を  
使用しての施工が一般的  
で、各々の機械は設置さ  
れた軌道（レール）の上  
を走行して施工する。

そのうち、締固め・表  
面仕上げの機械は常に前  
進しながらの施工である  
のに対し、敷き均し機械  
は施工場所に搬入された  
生コンクリートを機械自  
体が軌道上で前後進を繰  
り返して施工を行うた  
め、機械回りの作業員と  
の接触が懸念される。

間には作業員が入らないよ  
うにトラロープで注意喚  
起を促す対策を考案し  
た。トラロープは、特殊  
ドラムにより何時でも引  
つ張られた状態で、敷き  
均し機械の前後進に追従  
し機械同士の距離が変わ  
ってもゆるむことなく注  
意喚起を継続する。

また、トラロープと敷  
き均し機械の連結部に  
は、トラロープより低強  
度である連結チェーン  
（プラスチック製）を使  
用し、トラブル時の破断  
箇所を設けた。これによ  
り何らかのトラブルによ  
り破断した場合でも、補



助ロープ（ゴム製）  
でトラロープを補  
助し、同時にフザ  
ーでオペレータに  
異常を知らせるタ  
ブルセーフティ機  
能も追加した。

同社は、このシ  
ステムを「くるく  
るトラロープ」と  
名付け、同社機械  
技術センターで作  
動テストを繰り返し、今  
回、群馬県内のトンネル  
舗装工事に導入した。現  
場での評判は良好で、今  
後はこの器具を改良し、  
コンクリート舗装現場へ  
普及を進め、安全性の向  
上を図っていく。